

平成 23 年 12 月 28 日  
一般社団法人全国銀行協会

## 全国銀行の平成 23 年度中間決算の状況(単体ベース)

### <要 旨>

#### 1. 経常利益

経常収益は、国債等債券の関係収益が引続き好調であったなか、その他経常収益が増加したものの、資金運用収益が減少したことから、7兆9,471億円（前中間期比1,819億円、2.2%減）となった。なお、その他経常収益の増加（同1,525億円、66.4%増）は、今期から貸倒引当金戻入益・償却債権取立益の計上区分が変更されたこと等による。

経常費用は、株価下落に伴い株式等償却が増加したものの、企業倒産が低水準に推移したことによる与信関係費用の減少に加え、資金調達費用の減少により、5兆9,417億円（同1,879億円、3.1%減）となった。

この結果、**経常利益**は、2兆53億円（同60億円、0.3%増）と3年連続して増益となった。

#### 2. 中間純利益

**中間純利益**は、法人税等が増加したため、1兆3,751億円（同2,532億円、15.6%減）と3年ぶりに減益となった。

#### 3. 業務純益

**業務純益**は、2兆6,223億円（同1,853億円、6.6%減）と3年ぶりに減益となった。

(注) 平成 23 年度中間決算における**全国銀行**とは、都市銀行 6 行(みずほ、三菱東京UFJ、三井住友、りそな、みずほコーポレート、埼玉りそな)、地方銀行 63 行、地方銀行Ⅱ(第二地方銀行協会加盟銀行) 42 行、信託銀行 6 行(三菱UFJ信託、みずほ信託、中央三井信託、住友信託、野村信託、中央三井アセット信託)、新生、あおぞらの 119 行である。